

「加速する保育M&A」シリーズ

受講料
無料

弁護士と保育事業経営者とのコラボセミナー 保育事業参入後に直面する3つの難所と対策 ～ポスト待機児童社会で保育園を継続事業に育てるために～

近年、保育業界ではM&Aによる事業再編や経営多角化の動きが活発化しています。

保育所は児童福祉法に定められた社会的意義の大きな事業であると同時に、遵守すべき運営基準や保育事業、業界特有の経営における難所がいくつも存在します。

また、少子化の加速に伴い、保育受け入れ枠の量的拡充が望まれた待機児童社会から、園児定員割れによる閉園や廃業に追い込まれるケースが増加傾向にある等、より一層、保育園の「保育の質」が問われる時代へのシフトが始まっています。

本シリーズセミナーでは、これから保育事業のM&Aを予定・検討されている法人様、異業種から保育事業へ参入された法人様を対象に、特にお問合せの多い「保育士採用」「園児の安全管理対策」「コンプライアンス遵守」の3つをテーマに、どのように戦略を組み立て、危機を予防し、効果的な園運営を実現すべきか、法的観点も踏まえてお伝えします。

松田綜合法律事務所 保育事業参入 セミナー

検索

2023年
2月27日(月)
14:00～

【第1部：株式会社十色舎 代表取締役 福井 渉 氏】

「保育の質」に直結する保育士採用のエントリーマネジメント

保育業界では長年に渡り、その担い手である保育士の人材不足や早期離職が課題であり続けています。

一方で、園が目指す保育の質を実現する鍵は、どのような保育人材を・どのように招き入れるか、採用の入口が大きなポイントになります。

先々の離職を防ぎ、定着につながるような採用をいかにして実現するか、人材紹介サービスに頼らず直接採用で毎年新規開所の人員増を実現してきた保育事業経営者が実践例を紹介します。

【第2部：松田綜合法律事務所 弁護士 田中 裕可】

「保育の質」を高める安全管理に特化した監査のポイント

保育事業の経営上、安全管理対策の構築は不可欠なものであり、「保育の質」が問われる時代において、その取り組みは、重要性を増しています。

M&Aとの関係では、保育事業の価値を高めるため、また、当該保育事業に内在する「リスク」を把握するために、“安全管理対策が適切に講じられているか”という観点から監査を行い、改善につなげることが有効です。

安全管理監査の経験豊富な弁護士が、安全管理に特化した監査のポイントを解説します。

【発行元・お問合せ】

松田綜合法律事務所 保育セミナー担当 早川

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目1番1号
大手町野村ビル10階

電話：03-3272-0101 FAX：03-3272-0102

E-mail：seminar@jmatsuda-law.com

新型コロナウイルス 感染拡大防止ご協力をお願い



マスク着用



手指消毒
手洗い



検温



ソーシャルディスタンス

✓ 体調の優れない場合のご来場はご遠慮ください。
✓ 大きな声での会話はお控えください。

お申込み
詳細は
裏面へ

時間	講座	講師
14:00~14:10	【開会あいさつ】	弁護士 菅原 清暁
14:10~14:40	【第1部】「保育の質」に直結する保育士採用のエントリーマネジメント 1. 保育業界の人材市場概況 2. 経営陣・人事担当が理解しておくべき保育士業務の特殊性 3. 保育の質につながるエントリーマネジメント 4. 保育士定着を見据えた中長期採用戦略 5. 保育事業のダウンサイドリスク対策	株式会社十色舎 代表取締役 福井 渉
14:40~14:50	第1部 質疑応答	
14:50~15:30	【第2部】「保育の質」を高める安全管理に特化した監査のポイント 1. 安全管理監査の目的と機能 2. 安全管理の基本となる職員の知識、対策と危機発生時への備え 3. 安全管理監査の実例～食物アレルギー事故の予防と対応～ 4. 安全管理監査後の対応策と現場へのフィードバック	弁護士 田中 裕可
15:30~15:40	第2部 質疑応答	

コーディネーター



菅原 清暁 松田総合法律事務所 パートナー弁護士
 保育現場や教育現場を取り巻く多様な問題にも積極的に取り組んでおり、例えば、職員の労務管理（問題社員への対応、残業問題解消の提案、就業規則等の改訂）、キャラクター使用などの著作権の関わるトラブル対応、情報管理支援（児童の個人情報漏えい）、クレーム対応（近隣対応・保護者対応）、園内事故発生後の対応など、従来の弁護士業務の枠にこだわらず、広く総合的なリーガルサービスの提供に努めている。著書：Q&A 保育所・幼稚園のための法律相談所（日本加除出版）



スピーカー



福井 渉 株式会社十色舎 代表取締役
 2015年4月、子ども・子育て支援新制度施行と同時に横浜市内で小規模保育事業を開始。2018年5月、横浜市内初となる小規模保育と児童発達支援の併設事業所を開設。現在は横浜市青葉区を中心に、小規模保育「といろきっず保育園」と保育型の児童発達支援「CYS school」の計9施設を運営している。著書：3歳までに芽が出る、その子だけの個性 小さな子どものための小さな保育園（クロスメディア・パブリッシング）



田中 裕可 松田総合法律事務所 弁護士 保育所・幼稚園事業関連法務チームメンバー
 保育所・幼稚園事業関連法務における取扱業務は、規程整備、保護者トラブル、人事労務、個人情報保護法対応、施設内事故発生時の対応など、多岐にわたる。特に教育・保育施設の安全管理監査に対応し、安全管理委員会の整備・活用等、施設内事故の防止に力を入れており、経営リスクを見据えたきめ細やかなサポートを提供するべく日々研鑽を積んでいる。

【セミナー概要】

- 日時：2023年2月27日（月）14時00分～15時40分
- 会場：大手町ファーストスクエアカンファレンス
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
ファーストスクエア イーストタワー2F 【RoomD】
- 定員：50名 ■ 受講料：無料

リアルセミナー

詳細・お申込

<https://jmatsuda-law.com/nursery-school-seminar-2/>

上記URLまたはQRコードから
 セミナー申込フォームへアクセスし、
 必要事項をご入力の上お申込ください。
 お申込みの方へは、幼稚園・保育ニュースレター
 もお送りしております



※出典：大手町ファーストスクエアカンファレンスHP